

## 長濱さんからのメッセージ

代表取締役社長  
長濱 好数

### とどけ！ お客さまに “Initiative7”

平素は、皆さまにはたくさんのご愛顧を賜り、心から御礼を申し上げます。

お陰様で、昨年度の最終四半期は、新しいビジネスへの着手ならびに、システム構築の品質安定化をお客さまと一緒に実行できたことにより、着実な成果を収めることが出来ました。

改めて御礼を申し上げます。

さて、スタートしました2014年度は、北九州から「元気なソルネット」を、お客さまにお届けしたいと思えます。

3月にレイアウト変更を含めたオフィスの活性化を実施しました。これにより、営業とSE、そして、業務を含めた社員のチームワークをより強くして、お客さまに直接繋がる時間を、質・量ともにアップしていきたいと思えます。また、2月27日には“女性の活躍推進福岡県会議”に自主宣言登録をしました。グローバル競争や少子高齢化の進展する中で、地域貢献や、私たちの課題解決のためには、女性人財の活用が必要だと思えます。もちろん、女性に限らず、社員が自己能力を十分に発揮できる環境を醸成するとともに、ワークライフバランスの充実した企業を目指すソルネットのDNAを、さらに進化させていきたいと思えます。

今後も、「元気なソルネット」のための施策として、ワークスタイルイノベーションに、チャレンジしてまいります。

最後になりますが、2011年よりスタートしたフォーカス・ソリューションである、ソルネットの“光り物” Initiative7 も、多くのお客さまのご支援を頂き、経験と知見そして、ソリューションの蓄積ができてまいりました。

この場をかりまして御礼を申し上げます。

今年度は、この Initiative7 を、さらにクラウド・モバイル・ビッグデータと連携させて、ハイブリッドにお届けしていくことを社員みんなでチャレンジしてまいります。

この一年間、皆さまとビジネスの成功をエンジョイできますことを楽しみにしております。



現在の原動力  
(病床の父がしたためた心書き)

## 北九州市環境首都検定 最優秀賞受賞！

平成25年度北九州市環境首都検定が、2013年12月15日（日）西日本総合展示場 新館で実施され、平成24年度に引き続き、「TEAMソルネット」として、社員と家族を含めた85名で受検しました。

今年も環境ソリューション推進室が中心となり、過去問題を参考にしたテキストを作成して、社内イントラネット上に掲載したり、メールでの情報共有を行うなどの受験対策を行いました。また、受験者ひとり一人も、昨年不合格だった人は合格を、合格だった人はさらに良い点数を目指して、通勤時間や休憩時間に少しずつ勉強するなど努力して、検定に挑みました。

その結果、チーム平均得点（上位10名）が89.8点と昨年を上回り、なんと、今回受験した69団体の中でもトップという成績で、2月23日の表彰式にお招きいただきました。



・企業・団体部門（ジュニア・一般・上級混合）成績最優秀賞

・受検者数優秀賞（受験者数 第二位）

環境首都を目指す、北九州市ならではのこの取組みに、社員・家族を含め楽しく参加することで、私たちの環境に対する知識が、年々レベルアップできているだけでなく、このような賞までいただくことができ、本当にありがたく、嬉しい気持ちでいっぱいです。

今回も、いただいた賞状を会社のロビーに飾って、受賞の喜びを社員で共有しています。



本社ロビーに飾っています



受賞者のみなさんと記念撮影  
（代表して、大岡が参加）

今年の受験者数が過去最高であったことから、市全体で環境への関心・視野が広まっていることが伺えます。

私たちも、検定で学んだ環境問題への取組みを実践するべく、ここ環境首都を目指す北九州にて、「誰もが暮らしたい街、誰もが活力ある街」づくりを、ITで強力にご支援していけるように、ご提案してまいります。

今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

## 煌めきの春...

「入社おめでとうございます。心から歓迎申し上げます。」

2014年4月1日 入社式。今年度も新しい仲間が3名加わりました。

内定が決まって以降、社内イベントに何度か参加していた時の表情とは

少し違い、社会人としての覚悟が見える面持ちで、元気よく入社してくれました。

入社式が終わるとすぐに、新入社員の3名はJ Bグループ全体の入社式・新入社員研修へと向かいます。そして、J Bグループでの3か月の集合研修を通じて、知識やスキルだけでなく、社会人としての姿勢をしっかりと学んできてくれることでしょう。

今後の活躍が楽しみです！！

それでは、私たちの新しい仲間をご紹介します。



- Q1.星座(血液型) Q2.出身校(学部)  
Q3.休日の過ごし方  
Q4.学生時代に頑張っていたこと  
Q5.ソルネット社員としての目標  
Q6.私ってこんな人です！



### 御手洗 吉秀 (みたらい よしひで)

- A1. さそい座(B型) A2. 九州工業大学大学院(情報工学府)  
A3. 土日は必ずバスケットをしています。自分の所属していないチームの練習にも参加し、バスケット仲間の“輪”を広げています。  
A4. バスケット(歴14年)と、大学では遺伝子に関する研究を頑張りました。  
A5. 周囲の方々から頼って頂ける存在になれるよう、日々努力します。  
A6. 人見知りなので、初対面での会話は苦手です。が、慣れると良く話します。慣れるまで・・・温かく見守ってください。

### 長田 郁美 (おさだ いくみ)

- A1. おひつじ座(A型) A2. 北九州市立大学(法学部)  
A3. まだ経験していない楽しいことを探して、旅行やスポーツに挑戦しています。  
A4. 日本料理店でアルバイトをし、幅広い年代の方との接し方を学びました。また、大学のアカペラサークルでは、メンバーとの会話を大切に、リーダーとして、グループ力の向上を目指し、頑張りました。  
A5. 多くの得意分野を作って、誰からも信頼される社員になりたいです。  
A6. “冷静な人”として見られることが多いのですが、実は、何事にも熱く、そして、涙もろい性格です。



### 猪坂 匠 (いのさか たくみ)

- A1. ふたご座(A型) A2. 大分大学(工学部)  
A3. 一人でぶらりと街で買い物をしたり、友人と食事に行きます。また、ライブ(ロックバンド: the Hiatus, locofrank...)に行くのが大好きです。  
A4. 居酒屋のアルバイトを頑張りました。そこで、“人との繋がり”の大切さを学びました。  
A5. 誰にも負けない！という強い気持ちを持って、一つ一つの仕事に一生懸命に取り組みたいです。  
A6. 失敗しても下を向かず、何事にもプラスにとらえ頑張りたいと思います。



## SOLNET ワークスタイル・イノベーション！！

平成2年3月に、枝光より現在の中央町へ本社を移転した時に備え付けた什器類を、社員一同大切に使用してまいりました。当時はバブル期ということもあり、重厚感のある什器類でした。

今年度、ワークスタイル改善の一貫として“WSIチーム”を発足、以下のコンセプトのもと、職場環境の見直しを検討し、ワークスタイル・イノベーション（以下、WSIと略）を実施しました。

### 【じえじえじえ！ みんなの顔が見えるやん】

これは、営業・ソリューション・サービスをワンフロアに配置することで、お客さまに対し、今まで以上に、クオリティ（品質・生産性）の高い商品・サービスのご提供を実現することを目的としています。

変更中の社内並びに作業風景



WSI完了後の社内並びに作業風景



実施に向けた本格的計画発足から約2ヶ月という短い期間で、移転以来24年と歴史ある(?)大量の文書整理に始まり、什器類の取捨選択、レイアウト調整などさまざまな見直しを図って、3月24日、新レイアウトにて業務を開始することとなりました。

WSIはまだまだ始まったばかりです。今後もWSIを進化させ続け、弊社ビジョンである“社員ひとり一人が、お客さまの成功への貢献を目指す”べく、行動してまいります。

尚、お客さまをはじめ、お取引いただいている皆さまにおきましては、WSI期間中、大変ご不便をおかけいたしました。是非、一度弊社に足をお運び頂き、新しいSOLNETのワークスタイルをご覧頂ければ幸いです。（事業管理）

### ◆ 女性大活躍推進宣言

本年1月、一般財団法人九州地域産業活性化センター 麻生渡会長が来社され、その取組みについてご説明いただきました。

弊社も、この活動に賛同し、自主宣言登録させていただきました。

会員証と宣言登録証



### ◆ 地域貢献活動

高見中学校の耐震工事のため、テニスコートが使用できない昨年12月からの3ヶ月間、弊社テニスコートを無償貸与しました。

心のこもったお礼状をいただきました。

御礼状と活動風景



# リレーション向上を目指して

1月29日、2013年度の“CS活動 発表会”を本社大会議室にて開催し、各部門からエントリーした4チームが活動成果を発表しました。

この活動は、日頃の活動に対する“お客さまの声”をベースに重点テーマを選定し、業務に密着したCS活動を実施するものです。

活動のポイントは、“日頃の活動をQCストーリーに則って改善すること”で、

参加性：全員参加の想い（部門連携）でメンバーが楽しんで活動しているか

革新性：アプローチ方法や改善手法に、工夫や新たな取り組み、挑戦の視点があるか

継続性：今後も継続実施でき、「当たり前レベル」を着実に向上させているか

など、5つの評価基準で審査を行います。

発表当日、会場には発表者の応援や他部門の活動を参考にしようと、約100名の社員が参加し、熱心に耳を傾けていました。どのチームも、知恵を絞った活動内容でしたが、接戦を制して最優秀賞を獲得したのは、プラントエンジニアソリューション部の『e-ギア』チームでした。

活動の内容は、自社商品である公益法人シリーズ「チェンバーズパック」のカルテ管理機能を活用し、メンバー間のコミュニケーション強化を図り、お客さまへの的確かつ、タイムリーな対応・提案を実現しようとするものです。

その他のチームも、日頃の活動における課題を創意工夫で改善し、活動品質を向上していく



今後も、継続的に活動してまいります

取り組みで、推進メンバーだけでなく、発表を聞いた社員ひとり一人も、意識改革や、新たな発見につながったようです。

今後もCS活動の範囲を更に広げ、お客さまにより一層ご満足頂けるよう、愚直に活動品質の向上を目指してまいります。

## 2013年度CS活動 ソルネット発表会

No.	テーマ	チーム名	事業部門	発表者
I. オープニング				
II. CS活動 報告会				
1	お客様との信頼関係強化 ～ストック拡大に向けて～	三方よし!	第2SI&S SVC推進部	柄本 隆 さん
2	医療ソリューションの事業拡大 ～医療戦力アップのチャレンジ～	MST	第2SI&S/ 営業統括	末岡 亮 さん
休 憩 (10分)				
3	サポート情報共有によるサービス品質向上	e-ギア	第1SI&S プラントエンジ	水澤 健太郎 さん
4	購買部門からSmartな調達部門へ	VAシスターズ	事業管理	中村 一哉 さん
休 憩 (20分)				
講評及び結果発表				
III. クロージング				

2013年度のCS活動テーマ



## お客さまと一緒に

北九州マラソンが行われた2月9日は、朝からの冷たい雨にも関わらず、1万人のランナーと約4,700人のボランティア、さらに28万人にも上る沿道からの応援で、北九州のまち全体が、にぎやかに活気づいていました。

マラソン人口は年々増加していると言われていますが、今回本当にたくさんのお客さまと社員がランナーとして参加登録したとのことで、ぜひ現場で直接応援したいと、社員と家族も中央町の沿道に陣取りました。

大勢のランナーが、応援の人波で縁取られたコースの中を、まるで水が流れるように走って行きます。あまりのスピードの速さとランナーの多さで、なかなか知っている顔を見つけることができません。戸惑いながらも一生懸命に声援を送っていると、思いがけずランナーの方から声を掛けられました。ふと見るとお客さまです。弊社の“のぼり”を見つけて、たくさんのランナーが行きかう中を沿道に近寄り、わざわざ声を掛けてくださったようです。しかも、そんなお客さまが何人もいらっしゃったのです。

マラソンでは、自分のペースを維持することが重要と言われていますが、そんな最中にも、私たちのためにお気遣いをいただいたことを思うと、本当に胸が熱くなる思いでした。



弊社も設立から47年を迎え、その間、ご縁があってお仕事をさせていただいたこのような大切なお客さまが、ここ北九州市には数多くいらっしゃいます。

今回の北九州マラソンのように、地元北九州でひたむきに走り続けるお客さまを、私たちが力いっぱいご支援し、一緒にゴールを目指して走っていくことで、この北九州のまちをもっともっと元気にしていきたい、と思いました。 (Y.N)

### 編集後記

最近、本社の廊下では、心地よい春風に乗って、新しい机や椅子の匂いがしてきます。先日の“職場環境の見直し”で、身の回りの物を整理整頓しスッキリ。今までの働き方をちょっと“工夫”してみたり、小さな“発見”を楽しみながら、新生活をはじめています。皆さんのところには、どんな春が届いていますか？

(K.K)

